

|   |                                   |                  |           |
|---|-----------------------------------|------------------|-----------|
| 科目名   |                                   | リハビリテーション医学実習    |           |
| 科目責任者   | 佐伯 覚                              | (リハビリテーション医学 教授) |           |
| 担当者   | 伊藤 英明                             | (リハビリテーション医学 講師) |           |
| 開講時期:   | 2～4年次                             | 単位数:             | 6 単位      |
|   |                                   | 時間数:             | 90分× 90 回 |
| <p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>リハビリテーション医学研究において、心身機能・身体構造、活動や社会参加の実体を明らかにし、更にこれらに關与する要因および有効な介入方法について明らかにする。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) リハビリテーション医学における研究仮説を設定できる。</li> <li>2) 被験者を用いたリハビリテーション医学研究に関する申請書類を作成することができる。</li> <li>3) 心身機能・身体構造、活動および社会参加の相互関係をモデル化することができる。</li> <li>4) リハビリテーション評価に関する個々の方法を研究に用いることができる。</li> <li>5) リハビリテーション治療に関する個々の方法を研究に用いることができる。</li> <li>6) 機器を用いた評価および治療を応用することができる。</li> <li>7) 障害に影響する要因を同定することができる。</li> <li>8) 予後予測要因と転帰との因果関係を考察することができる。</li> </ol> |                                   |                  |           |
| ● 評価方法  | 検討会での討論20%・発表40%・レポート40%等で総合評価する。 |                  |           |
| ● 参考文献  | 実習の中で必要に応じ紹介する。                   |                  |           |